地質サイトカード

カードNo.	A-①-13	通しNo.	13	作成日	2024/7/12
サイト名	多古の石柱（たこ せきちゅう）				

基本情報	エリア	島根半島　探訪サイト
	区分	☑地質・地形　□生態　□文化
	利用価値	☑科学　☑教育　☑観光・ツアー
	所在地	松江市島根町多古沖泊
	アクセス	松江だんだん道路川津ICから約20km、約30分で沖泊。 港から手前に約300m地点の北側の丘陵から望める。
	周辺施設	□トイレ　□売店　□飲食店　□駐車場（　　台　） □ウォーキングコース　□サイクリングコース □観光施設（　　）
	看板整備	沖泊駐車場トイレの壁面に1枚設置
	留意点	

位置情報	d-1

保護・保全	法規制・関連団体等	大山隠岐国立公園
	保全メモ	
サイトの解説	みどころ	玄武岩溶岩の侵食地形
	地質・地形	島根半島最北端の沖泊地域の日本海に面した海食崖には、主に海底火山から噴出した玄武岩溶岩あるいは安山岩溶岩が分布している。多古の石柱もこのような溶岩で、複雑に流れた玄武岩溶岩のうち、板状節理の発達した水平部分が取り残され石柱となった。石柱のある沖泊周辺にはこのような板状節理が発達し、多古の七つ穴に代表されるような海水に触れることにより、溶岩が礫状あるいはブロック状に破砕された水冷自破砕溶岩も広く分布する。石柱の周りにもこのような地層が分布し、これらは板状節理の発達した溶岩に比べて侵食されやすい。また、石柱の近くには断層によってできた破砕帯が侵食されてできた洞門（通称弁慶潮かき穴）も見られる。
	歴史・文化生物・生態等	多古の石柱がある沖泊の津上神社は、海を臨む小高い丘の上にあり、『雲陽誌』では津守明神と書かれている。
写真・図等		
参考文献	鹿野和彦・吉田史郎（1985）境港地域の地質、島根半島四十二浦巡りの旅	